

ほんがいっぱい よんでみよう!



3・4年生のための本

①『ぼくとおじちゃんとハルの森』

山末やすえ^{やますえ}／作 さく おおのやよい^{おおのやよい}／画 くもん出版^{くもん} 《Fヤ》

もりおじちゃんが山小屋^{やまごや}を買った。きゆうに大工^{だいく}の仕事をやめて、そこでくらすんだって。どんな山小屋^{やまごや}なんだろう。いっしょに下見^{したみ}に行ってみたら、小さくて古くて、おんぼろ小屋^{おんぼろ}だけど、まわりは雑木林^{ぞうきばやし}と森^{もり}にかこまれて、とても気持ちのいいところだった。それに、小屋のまわりにはキツネもいるみたい…。



②『やさしい大おとこ』

ルイス・スロボドキン^{ルイス}／作・絵 さく こみやゆう^{こみやゆう}／訳 とくましよてん^{とくましよてん} 徳間書店 《Fス》

山のお城^{やま}に大おとこ^{しろ}がすんでいました。村の人たちは大おとこ^{おお}をこわがって、大おとこが来ると、いつも家のなかにかくれていました。ところがある日、小さな女の子^ひが井戸^いにおちてしまい、家の中にかくれることができなくて…。



ところざわしりつところざわとしょかん
所沢市立所沢図書館 2014年

③『ハンカチの上の花畑』

うえ はなばたけ
あわなおこ^{あわなおこ}／作 さく いわぶちけいぞう^{いわぶちけいぞう}／絵 え あかね書房^{あかね} 《Fア》

ゆうびん屋^やの良夫^{よしお}さんは、おばあさんからふしぎなつぼをあずかりました。そのつぼの中^{なか}にはおいしいお酒をつくる小人^{こびと}がいるのです。おばあさんとのやくそくはふたつ。お酒をつくるところをだれにも見せないこと、つくったお酒でお金^{かね}もうけをしないこと。ところが良夫^{よしお}さんはやくそくをやぶってしまい…。



④『車のいろは空のいろ 1 白いぼうし』

くるま そら しろ
あまんきみこ^{あまんきみこ}／作 さく きただたくし^{きただたくし}／絵 え ポプラ社^{ポプラ社} 《AFア》

まつい^{まつい}さんの空色^{そらいろ}のタクシーには、いろいろなお客^{きやく}さんがのってきます。ふつうのきょうだいのようで、じつはきつねのきょうだいだったり、山ねこのお医者^{いしや}さんだったり。たくさんのふしぎをのせて、空色^{そらいろ}のタクシーは走^{はし}っていきます。

だい かん ほん きやく
第2巻 『春のお客さん』
だい かん ほん ぼし
第3巻 『星のタクシー』もあるよ!



⑤『ねずみのオスカーとはるのおくりもの』

リリアン・ホーバン^{リリアン}／作 さく みはらいずみ^{みはらいずみ}／訳 やく のら書店^{のら書店} 《Fホ》

はる春^{はる}にうまれるあかちゃんのベッドをこしらえるために、オスカーとお父^{ちち}さんはなやに忍^{しの}びこみました。ところが、そこにはらんぼうなネコ^{ねこ}がいて、いつもじゃまばかりされてしまいます。ある冬^{ふゆ}の日、ベッドが作れなくて悲^{かな}しむオスカーの前に、ふしぎなうさぎ^{うさぎ}があらわれて…。



⑥『リンゴの木の上のおばあさん』

ミラ・ローベ／作 塩谷太郎／訳 岩波書店 《F口》

おばあさんがほしかったアンディは、ある日いつも遊ぶリンゴの木の上でステキなおばあさんに会いました。二人で遊園地に行ったり、馬狩りに行ったり、おばあさんは魔法使いみたいにアンディの願いをかなえてくれます。



⑦『ソフィー・スコットの南極日記』

アリソン・レスター／作 斎藤倫子／訳 小峰書店 《40》

やったあー！南極大陸にいけるんだ！パパは、南極に人や荷物を運ぶ船の船長さん。わたしもつれていってくれるんだって。南極ってどんなところだろう。ペンギンやアザラシにあえるかな？大きな氷山がたくさんあるのかな？猛吹雪ってどんな感じなんだろう？はやくいきたいなあ。



⑧『カマキリの生きかた』

筒井学／写真と文 小学館 《48》

あなたはカマキリを知っていますか？カマキリのたまごってどんな形をしているのかな？赤ちゃんカマキリは、どんなふうにも生まれるんだろう？えものはどうやってつかまえるの？知っているようで知らないカマキリの一生をのぞいてみよう。



⑨『ミリー・モリー・マンデーのおはなし』

ジョイス・L・ブリスリー／さく 上条由美子／やく 菊池恭子／え 福音館書店 《AFフ》

短いかみ、短い足に短い服の小さな女の子がいました。名前はとっても長いので、みんなはちぢめてミリー・モリー・マンデーとよんでいます。この子の足は、たいへん元気のよい足でおつかいにはぴったり。さて、ある晴れた日…。



⑩『おしゃべりなたまごやき』

寺村輝夫／作 長新太／画 福音館書店 《Eチ》

たまごやきが大すきな王さま。ある日、にわとりがかわいそうになり、こやのかぎをあけてしまい…。にわとりがとびだし大さわぎに！

⑪『あくまのおよめさん』

稲村哲也・結城史隆／再話 《M》

あるひ、ラージャンは、道でぎんかをひろいました。そのぎんかでおとうさんたちのいうことをきかず、ちいさなさをかいました。

⑫『恐竜をほりだす』

アリキ／文・絵 神鳥統夫／訳 リブリオ出版 《45》

博物館で恐竜の骨ぐみをみたことある？肉食恐竜や草食恐竜、いろいろな恐竜がいるけど、この骨ぐみは、どこからきたんだろう…。

⑬『きつねにようぼう』

長谷川摂子／再話 片山健／絵 福音館書店 《M》

びんぼうな男のところによようぼうがきて、男の子がうまれた。ある日、花に見とれたによようぼうのしりからは…。なんと大きなしっぽがぶらさがっていた！

⑭『ピーナッツなんきんまめらっかせい』

こうやすすむ／文 中島睦子／絵 福音館書店 《62》

ピーナッツって食べたことある？なんきんまめやらっかせいは？じつは、3つともおなじまめなんだよ。

⑮『たいようのおなら』

灰谷健次郎／ほか編 長新太／絵 のら書店 《91.1》

たいようがおならをしたら、ちきゅうがふっとんだ！？子どもたちのゆかいで楽しい詩がいっぱい。